

# 日高軽種馬協会のつとめ

**HBA**

日高軽種馬農業協同組合

☎0146-22-2258 FAX 22-3452

令和5年8月10日

第 **399** 号



セレクションセール最高価格馬：カリーニヨミノル2022

販売申込者：(有)フジワラファーム（静内）

## 〈主な内容〉

- セレクションセールを振り返って……………2～4ページ
- お盆休みについて……………3ページ
- 競馬トピックス……………5ページ
- 三冠馬誕生！その名もミックファイア……6ページ

## セレクションセール 22年振りの1億円ホース誕生

7月25日(火)～26日(水)の2日間、北海道市場でセレクションセールが開催された。本年も昨年を引き続き、24日(月)には比較展示、セリは2日間にかけておこなわれた。2日間での総売上額は62億1,137万円(以下、すべて税込)、平均価格2,290万円、中間価格1,870万円、売却率91.9%、最高価格は上場番号84番カーリーニョミノル2022(静内・(有)フジワラファーム)の1億340万円だった。購買登録者数はセレクションセールでは初の1,000名を超える1,028名だった。(比較については次頁参照)

今年のセレクションセールウィークは、南からの暖かく湿った空気の影響もあり道内各地で30度を超える猛暑日を観測し、日高でも蒸し暑い天気となった。前日展示日から雨の降らない好天ではあったが、この蒸し暑さのなか全7回に分かれておこなわれた比較展示では各飼養者、各馬が暑さに負けない堂々とした姿を披露した。

迎えたセール初日、開催に先立ってGⅠ優勝記念セレモニーがおこなわれ、本年の大阪杯を制したジャックドールのオーナーである前原敏行氏(藤岡健一調教師が代理出席)にトロフィーが授与された。

セールのトップバッターを飾ったのはダイワプロパー2022(牡、静内・静内フジカワ牧場)。父はカタログ記載最多の19頭が上場となった期待の新種牡馬サートゥルナーリア、母は桜花賞馬レーヌミノルの全姉で自身もJRA3勝馬という良血馬は800万円からスタートし、最後は3,850万円ノーザンファームによって落札となった。その後は、モーリス産駒の上場番号16番セシリア2022(牡、門別・(有)天羽牧場)が5,500万円、ドゥラメンテ産駒の上場番号36番ユーロナイトメア2022(牡、荻伏・(有)笠松牧場)が昨年の最高価格(7,260万円)を上回る7,920万円で取引となるなど、序盤から高い評価を得る馬が続々と誕生した。1日目も3分の1を迎えようとしたところで上場となったのは上場番号48番ポウリナズラブ2022(牡、新冠・(有)パカパカファーム)。父は芝ダート距離を問わずに活躍馬を輩出し続ける万能サイアーのキズナに、母はアメリカの重賞勝ち馬で、2頭の兄姉がいずれも掲示板を外したことがないという抜群の安定感を誇るファミリー。いきなり3,000万円のファーストビッドからスタートしてもなお、場内各所から声がかかり続け、最後は秋元竜弥氏によって大台に迫る9,900万円

での取引となった。

セールの2週間前、南関東クラシックで無敗の三冠馬ミックファイアを輩出したシニスターミニスター。その注目度の高さは言うまでもなく、セレクションセールにエントリーされた5頭の産駒にも大きな注目が集まった。それを証明したのが上場番号84番カーリーニョミノル2022(牡、静内・(有)フジワラファーム)。オメガパフュームを輩出した牝系で、母はJRAのダート1800mで3勝をあげた活躍馬のうえ、叔母には愛知杯(GⅢ)などの重賞を制したエテルナミノルがいる豪華なブラックタイプも目を惹いた。1,500万円からスタートすると、瞬く間に2,000万円、3,000万円と超えていき、活気付いた勢いのまま6,000万円を軽々突破した。7,000万円を超えると息を飲むような一騎打ちになり、最後は1億340万円で今福洋介氏が射止める結果となった。大台の1億円を超えたのは2001年にサンデーサイレンスの牡駒が1億7,850万円で落札となって以来、22年振りのことだった。



GⅠ優勝記念セレモニートロフィー授与の瞬間

初日はその後も、上場番号114番ピンクドッグウッド2022(牡、静内・(有)グランド牧場)が7,040万円、上場番号115番ウインフロゼン2022(牡、平取・(有)二風谷ファーム)が7,700万円と2頭続けて7,000万円を超えた取引となるなど、32億5,996万円、売却率93.3%を記録した。

2日目は、開始から時間にして1時間以上も主取りとならないセリが続いていく。その間、注目のキタサンブラック産駒の上場番号168番アポロフィオーリーナ2022(牡、三石・(有)平野牧場)が  
(次頁へ続く)

6,160万円、兄にユニコーンステークス勝ちのスマッシャーがいる上場番号175番スマッシュ2022（牡、浦河・(有)宮内牧場）が5,280万円、稀少価値の高いJustify産駒の上場番号176番チックニステル2022（牝、浦河・(有)谷川牧場）も5,280万円取引となり、初日からの好況が継続する流れとなった。この日も終始高い売却率を維持しながら、アドマイヤマーズ産駒の上場番号213番パスティエーラ2022（牡、新冠・(株)ハクレファーム）が5,060万円、サートゥルナーリア産駒の上場番号225番スプリングサンダー2022（牡、門別・(有)天羽牧場）が5,940万円と、新種牡馬産駒が盛り上げるなか、上場番号224番ストライクルート2022（牡、静内・(有)フジワラファーム）がこの日の最高価格となった。父はエピファネイア、きょうだいにはカイザーミノルやエーポスといった重賞戦線での活躍馬がいるほか、兄姉はすべてJRAで勝ち上がっている堅実なファミリー。3,000万円のファーストビッドからスタートするが序盤は様子見の雰囲気だったが4,000万円を超えると競り合いは一気に加速し、6,000万円のビッドが決定打となり6,600万円で見事な勝ち上がりとなり、吉岡實氏によって落札となった。この日も最後まで勢いは衰えず、29億5,141万円、売却率90.4%を記録した。

セレクションセールの結果を種牡馬別に見みると、総額トップ3をサートゥルナーリア、エピファネイア、リオンディーズとシーザリオの仔が占めたほか、最高価格を叩き出したシニスターミニスターが、カリーニョミノル2022のほかに

もエーシンベタラネリ2022（牡、三石・水丸牧場）が5,060万円取引となり、複数頭上場の種牡馬では平均価格トップの4,598万円を記録した。新種牡馬では4頭上場ですべてが取引となったアドマイヤマーズが平均価格2,942万円の高い評価を受け、7頭上場ですべて取引となったナダルも平均価格2,286万円と高い人気を誇った。

また、昨年はポイントを落とした中間価格もV字回復し過去最高を記録したことから、一定の高価格馬が全体の指標を押し上げた訳ではなく、全体的に高い評価を受けての結果だったことが分かる。日高の生産界でも繁殖セールなどを通して血の入れ替えがおこなわれ、良質な血統に旬な種牡馬を配合されてきたことが今回の結果に繋がったと思われる。

古川組合長は「本当にありがたい数字が出たと思っています。総額もそうですが、売却率が2日間で90%を超えたことが嬉しいです。上場を申し込まれる馬のレベルが上がってきていることが売却率に繋がっていると思いますし、ジャックドールのような馬が上場されていて、ご自身で選んで買えるチャンスがあるというのは大きいと思います。それだけレベルが上がってきている証拠だと思いますから。また、ダート三冠が始まるということで、ダート系の種牡馬から高価格が出ましたし、ダート系の新種牡馬でも高い評価を得て沢山購買いただいたと思いますし、購買者にとってもダート三冠が目標になっていると感じました。」と空前絶後のセレクションセールを振り返った。

## 【セレクションセール(サラ1歳) 5年間の比較】

	令和5年	令和4年	令和3年	令和2年	令和元年
平均価格	22,920,185 ↗	20,297,718 ↗	19,880,049 ↗	19,507,065 ↓	15,752,650
中間価格	18,700,000 ↓	15,400,000 ↗	17,600,000 ↗	16,500,000 ↓	13,500,000
出場頭数	295 ↗	301 ↗	234 ↓	223 ↗	236
売却頭数	271 ↗	263 ↗	202 ↓	184 ↗	197
売却率	91.86 ↗	87.37 ↗	86.32 ↓	82.51 ↗	83.47
売上総額	6,211,370,000 ↗	5,338,300,000 ↗	4,015,770,000 ↗	3,589,300,000 ↗	3,103,272,000
購買登録者数	1028 ↗	978 ↓	886 ↗	1454 ↗	687
購買実績数	170 ↗	166 ↗	129 ↗	123 ↗	119

※ 単位(円、頭、%、名)、価格は税込、矢印は前年対比

※ 令和2年の購買登録者数はサマーセールとの合算

### お盆休みのお知らせ

令和5年8月14日(月)は事務所を閉所させていただきます。  
ご不便をお掛けしますが宜しくお願い申し上げます。

## 2023セレクションセール 種牡馬別成績

種牡馬名	上場頭数	売却頭数	総額 (税込)	最高価格 (税込)	平均価格 (税込)
アジアエクスプレス	1	1	16,060,000	16,060,000	16,060,000
アドマイヤマーズ	4	4	117,700,000	50,600,000	29,425,000
アルアイン	2	2	37,400,000	28,600,000	18,700,000
イスラボニータ	4	3	38,500,000	22,000,000	12,833,333
ウインブライト	2	2	44,000,000	30,800,000	22,000,000
エピファネイア	9	7	247,500,000	66,000,000	35,357,142
エボカドーロ	1	1	13,200,000	13,200,000	13,200,000
オルフェーヴル	3	3	57,200,000	34,100,000	19,066,666
カリフォルニアクローム	7	5	58,850,000	16,500,000	11,770,000
カレンブラックヒル	1	1	29,700,000	29,700,000	29,700,000
キズナ	5	4	167,200,000	99,000,000	41,800,000
キタサンブラック	5	5	129,800,000	61,600,000	25,960,000
キンシャサノキセキ	1	1	17,600,000	17,600,000	17,600,000
コパノリッキー	1	1	16,500,000	16,500,000	16,500,000
ゴールドシップ	3	3	47,850,000	19,800,000	15,950,000
ゴールドドリーム	4	4	61,600,000	19,800,000	15,400,000
サトノクラウン	5	5	117,700,000	40,700,000	23,540,000
サトノダイヤモンド	5	4	70,950,000	23,100,000	17,737,500
サンダースノー	5	4	88,000,000	45,100,000	22,000,000
サートゥルナーリア	17	16	413,050,000	59,400,000	25,815,625
シニスターミニスター	5	5	229,900,000	103,400,000	45,980,000
ジャスタウェイ	1	1	12,650,000	12,650,000	12,650,000
シャンハイボビー	4	4	49,500,000	16,500,000	12,375,000
シュヴァルグラン	4	3	28,600,000	13,200,000	9,533,333
シルバーステート	6	6	160,600,000	38,500,000	26,766,666
スクリーンヒーロー	2	2	34,650,000	25,300,000	17,325,000
スワーヴリチャード	3	3	78,650,000	34,100,000	26,216,666
ダイワメジャー	1	1	11,000,000	11,000,000	11,000,000
ダノンレジェンド	1	1	17,600,000	17,600,000	17,600,000
タリスマニック	1	1	6,600,000	6,600,000	6,600,000
タワーオブロンドン	6	6	99,000,000	26,400,000	16,500,000
ディスクリートキャット	4	4	58,300,000	25,300,000	14,575,000
デクラレーションオブウォー	14	11	226,050,000	55,000,000	20,550,000
ドゥラメンテ	3	3	128,700,000	79,200,000	42,900,000
ドレフォン	8	7	174,350,000	48,400,000	24,907,142
トーセンラー	1	1	11,000,000	11,000,000	11,000,000
ナダル	7	7	160,050,000	35,200,000	22,864,285
ニューイヤーズデイ	3	3	68,750,000	34,100,000	22,916,666
ノーブルミッション	2	2	69,300,000	59,400,000	34,650,000
パイロ	6	5	151,800,000	70,400,000	30,360,000
パゴ	3	3	78,100,000	42,900,000	26,033,333
ハービンジャー	2	2	26,400,000	18,700,000	13,200,000
ビッグアーサー	2	2	44,000,000	30,800,000	22,000,000
ファイニンードル	2	2	44,000,000	27,500,000	22,000,000
フィエールマン	5	5	100,100,000	30,800,000	20,020,000
ブリックスアンドモルタル	3	1	19,800,000	19,800,000	19,800,000
ヘニーヒューズ	8	8	210,100,000	48,400,000	26,262,500
ホッコータルマエ	9	9	188,100,000	44,000,000	20,900,000
マインドユアビスケッツ	4	4	84,700,000	48,400,000	21,175,000
マクフィ	4	4	92,400,000	33,000,000	23,100,000
マジエスティックウォリアー	1	1	34,100,000	34,100,000	34,100,000
ミスターメロディ	3	3	46,200,000	20,900,000	15,400,000
ミッキーアイル	6	6	127,600,000	29,700,000	21,266,666
モズアスコット	7	7	140,250,000	37,400,000	20,035,714
モーニン	2	2	35,200,000	23,100,000	17,600,000
モーリス	7	7	189,200,000	55,000,000	27,028,571
リアルスティール	13	10	185,460,000	49,500,000	18,546,000
リオンディーズ	8	7	233,750,000	77,000,000	33,392,857
ルヴァンスレーヴ	11	10	178,750,000	48,400,000	17,875,000
ルーラーシップ	7	7	149,050,000	31,900,000	21,292,857
レイデオロ	9	8	158,400,000	38,500,000	19,800,000
ロジャーパロース	1	1	10,450,000	10,450,000	10,450,000
ロードカナロア	3	3	119,900,000	46,200,000	39,966,666
American Pharoah	1	1	23,100,000	23,100,000	23,100,000
Audible	1	1	11,000,000	11,000,000	11,000,000
Blue Point	1	1	8,800,000	8,800,000	8,800,000
Dark Angel	1	1	16,500,000	16,500,000	16,500,000
Justify	1	1	52,800,000	52,800,000	52,800,000
Mendelssohn	1	1	14,850,000	14,850,000	14,850,000
Saxon Warrior	2	1	20,900,000	20,900,000	20,900,000

# 競馬トピックス

## エルトンバローズ 3連勝で重賞制覇

7月2日、福島競馬場でおこなわれたラジオNIKKEI賞（GⅢ）でエルトンバローズ（荻伏・(有)桑田牧場生産）が勝利した。連勝の勢いに乗る本馬は、西村淳也ジョッキーに導かれ好位を追走。直線は先に抜け出しをはかるシルトホルンとの接戦を制し、初の重賞制覇となった。

## セイウンハーデス 念願の重賞初制覇

7月9日、福島競馬場でおこなわれた七夕賞（GⅢ）でセイウンハーデス（荻伏・鮫川啓一生産）が勝利した。外枠から先行すると終始楽な手応えのまま直線へ向かい、迫り来る他馬を寄せ付けない完勝だった。全11戦で掲示板を外したのはクラシックのみという安定感抜群の本馬。屈腱炎により休養に入ることが発表されたが復帰が待ち遠しい。

## 芝でもダートでも！ ゼルトザーム重賞制覇

7月15日、函館競馬場でおこなわれた函館2歳ステークス（GⅢ）でゼルトザーム（浦河・(有)富田牧場生産）が勝利した。本馬は、ダート1000mのメイクデビューを勝利しここに進んできたが、重馬場発表のタフな芝コースを力強く抜け出した。父ヘニーヒューズの産駒では、アジアエクスプレスやワイドファラオなど芝ダート二刀流の活躍を見せた馬が目立つ。今後はどのような路線を歩むのか注目だろう。

## セルバーグ 粘り腰で重賞初制覇

7月23日、中京競馬場でおこなわれた中京記念（GⅢ）でセルバーグ（静内・前谷武志生産）が勝利した。本馬は、これまで堅実な先行力を武器に戦ってきたエピファネイア産駒。8番人気の伏兵抜いだったが、今回も果敢に逃げの一手で、上位人気馬も差し脚を伸ばすなか後続を完封した。これが本馬の重賞初制覇となり、今後の更なる活躍も期待される。

## またまた札幌でドゥーラ！

7月30日、札幌競馬場でおこなわれたクイーンステークス（GⅢ）でドゥーラ（浦河・(有)グランデファーム生産）が勝利した。初の古馬との対戦も外目を捲り気味に進出し、直線も難なく抜け出して重賞2勝目を手にした。昨年の札幌2歳ステークスに続き、札幌とは好相性。秋の大一番へ向けても楽しみな結果となった。

## ミックファイア ジャパンダートダービー制覇！無敗の3冠馬が誕生

7月12日(水)、大井競馬場で第25回ジャパンダートダービー (Jpn I) がおこなわれ、ミックファイア (静内・(有)高橋ファーム生産) が並居る強豪馬を抑え、2001年トーシンブリザード以来22年振りの無敗での南関東ダート3冠を達成した。

ミックファイアは、父にシニスターミニスター、JRAで4勝を挙げたマリアージュを母にもち、2021年のサマーセールでオーナーの星加浩一氏によって550万円で取引された。デビュー後は連勝に続く連勝で、前走の東京ダービーを無敗のまま制覇。前走までの5戦で2着馬に付けた合計着差は25馬身と、圧倒的な強さを見せ続けていた。全日本的なダート競走の体系整備に伴い、来年からはこのジャパンダートダービーはジャパンダートクラシックへと名称が変更となり、開催も秋へと移行となる。長く関係者やファンに根付いてきた南関東3歳クラシックも今年で最後となるが、その節目の年に現れたスーパーホース・ミックファイアは自身の南関東3冠を懸けたのはもちろんのこと、ヒーローコールやナンセイホワイト、サベージといったこの路線で鎬を削った相手が不在のこのレースを、南関東勢の総大将としてJRA勢と対峙した。ファンの期待もミックファイアを後押しし、1番人気で大舞台へ挑んだ。

JRA勢も強力なメンバーが揃った。ユティタムは4戦3勝で、土が付いた一戦の勝ち馬はユニコーンステークス (G III) を圧勝したペリエールで、それ以外のレースでは危なげのない勝利を重ねてきた。ミトノオーも4戦3勝でここを迎え、逃げて他をまったく寄せ付けなかった前走の兵庫チャンピオンシップ (Jpn II) の強さからも驚異的な存在であることは間違いなく、古馬を相手に強さを見せた前走が光るオーロイプラータ、今年に入り勢いが増しているキリンジも侮れない存在だった。

ゲートが開くと、ミトノオーがハナを奪い、テーオーリガード、ユティタム、オマツリオトコらJRA勢が先団を形成し、ミックファイアはそれらの外の苦しいポジション取りを強いられた。逃げるミトノオーが軽快にレースを進め、後続も脚が溜まらない苦しいペースになるなか、3～4コーナーでリードを広げ楽な手応えのまま通過するミトノオーの後続では各鞍上が激しく手を動かしていた。直線に入り、ユティタムとミックファイアが併せ馬のままミトノオーに迫ろうとするがなかなか差は詰まらない。しかし、残り200mを迎えるころミックファイアがユティタムを振り切り、脚が止まり始めたミトノオーとの差をジリジリと詰め始めると、大井競馬場に訪れたファンの声援がミックファイアを後押しするかのよう広がる。それに応えるかのようミトノオーを強襲し、三冠達成のゴールとなった。

ミックファイアがこうして大舞台で輝く姿に、生産者も大きな夢を見ることができ、来年から始まるダート三冠に向けて関係者の士気も上がったことだろう。3歳路線を制圧し、これからは古馬との対戦が待つが、更なる快進撃を期待したい。

- ◆ミックファイア (牡3) 父シニスターミニスター 母マリアージュ (byブライアンズタイム)  
馬主：星加浩一氏 生産者：(有)高橋ファーム (静内) 大井・渡邊和雄厩舎所属  
通算成績：6戦6勝 獲得賞金：1億5,250万円  
主な勝鞍：23年ジャパンダートダービー (Jpn I) 、23年東京ダービー、23年羽田盃など